



共生の時代

'12
5月

●発行:グリーンコープ共同理事会 ●編集:共生の時代・編集部 ●〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号 カーニープレイス博多3階 TEL092(481)7923 FAX092(481)7876

東日本大震災の復興支援募金へのご協力ありがとうございました

2012年3月5日～3月17日の募金総額

2,482万1,000円



石巻市に今も残る瓦礫の山。右奥の建物は高橋徳治商店の工場

Contents

- 「産直たまご」の新しい名前が決まりました！
産直肉は一頭（一羽）まるごと引き取りです
余ることがないいろいろな部位を食べましょう **2**
- うちのメーカー・うちの生産者[®]
岡山ふたみ牧場 産直岡山ふたみ牛 **3**
- 東日本大震災一年後集会
～みどりの地球をみどりのまま
子どもたちに手渡すために～ **4・5**
- 利用者に寄り添い、生活の再生を支援する生活再生相談 **6**
- 「松島りすの森保育園」「グリーンコープ香椎照葉幼児園」
子育ての新たな支援はじまりました **7**

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)シリーズ (8) 被災地復興の今を掲載

3月、従兄弟が結婚した。18歳も違う従兄弟は今年30歳を迎える。可愛いといえる年齢ではないが、生まれた時から我が子のように接してきた私にとっても嬉しい出来事である。その結婚式で、その甥っ子に「おばちゃんが一番好き」と言われ目じりが下がる。私自身もその昔、その子のおばあちゃんが一番好きだった。思いが引き継が

送 信

れた瞬間でもあった。将来生まれてくる新しい生命にも「一番好き」と言われるように励む自分が目に浮かぶ。思いが紡がれていく！そのことが何よりも嬉しい！年齢は重ねたくないが嬉しいと感じる瞬間が多いことは幸せである。これから幸せの時間を積み重ねて行こう。

グリーンコープかまき生協理事長
川原 ひろみ

地域のつながりで介護を応援したい

プロフィール
山口県生まれ。福岡県北九州市在住。グリーンコープ生協ふくおか組合員
夫、長女(21)、実父の4人家族



老いを支える北九州家族の会 世話人 **野村 尚子**さん

介 護は突然はじまりました。20年前、山口で一人暮らしをしていた実父が倒れ、北九州で同居をはじめた。その父が通っていたデイサービスの家族の会に参加したことが、野村さんの今日の活動のきっかけだ。「父は大変厳しい人で、小さい時は反抗もできませんでした」と野村さん。厳格な父から野村さんをかばってくれたのは母だった。その母が亡くなった後も5年間、豊饒と一人暮らしをしていた父だが、倒れた後、身体が不自由になり、今までどおりの生活を続けることが難しくなった。一人っ子の野村さんは、父を自宅に引き取り介護すると決めた。「歳を取ったら子どもや孫に囲まれて暮らしたい」と言っていた父の言葉を思い出し、その望みをできるだけ叶えてあげたいと考えたからだ。

るうちに、家族でできることの限界を思い知らされた。長女はまだ幼く、子育てと介護を同時に背負うことになった野村さんにとって、デイサービスで開かれていた家族の会の集まりは大きな支えとなっていた。悩みを語りあう中で、みんな同じ思いなんだと、幾度となく励まされた。会の存在が本当にありがたかった。だからこそ、10年前、世話人にならないかと声をかけられた時も、「これまでもずっと支えてきてもらった。今度は私が皆さんの役に立ちたい」と引き受けた。

野村さんは「老いを支える北九州家族の会」が市の委託業務として行っている認知症コールセンターの相談員でもある。同じ立場から介護する家族の悩みに寄り添う。相談してよかったと、電話の向こうで明るい声が聞えた時は、本当にうれしいです。優しい声の奥に、介護家族のさまざまな悩みをしながら受け止める強さがうかがえる。悩みが解決できなくても、話を聞いてもらうだけでも気が楽になるものです。みんなで助けあえる地域でありたいですね」と語る野村さん。

いつも人との出会いや、つながりを大切にしてきた。世話人になる前はグリーンコープ生協ふくおか折尾若松支部地域委員として活動した経験もある。気心の知れた仲間との音楽活動も長年続けている。「人との出会いは私の財産。楽しいことやうれしいことがあるから、介護も続けられます」と笑った。

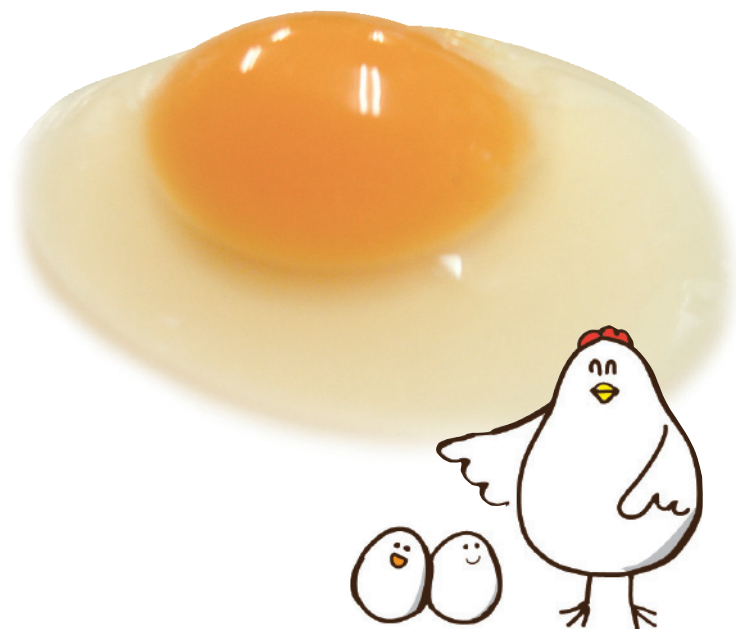
忙しい日々を過ごす野村さんを、家族が支えてくれる。家を留守にする時は、大学生になった長女が父の食事の仕度やかかってる。夫の理解もありがたい。そして野村さんにとってもう一つの支えは、時折見せる父の笑顔である。

産直たまごの特長

生産者も飼育内容もはっきりした、安心でおいしい、自慢のたまごです。

- ・たまごを産む期間の母鶏のえさはすべてnon-GMO（遺伝子組み換えでない）、ポストハーベストフリー（収穫後の農薬不使用）です
- ・母鶏は自然光や風が入る開放型鶏舎で伸び伸びと育ちます
- ・抗生物質などの薬剤は極力使用しません
- ・鮮度を保つためたまごを洗わず、生産者から組合員宅まで一貫した低温流通で届けます
- ・母鶏の飼料の15%が国産の穀物です
- ・「産直たまご」の母鶏の穀物飼料はすべて国産穀物です
- ・たまごのモウルドバックはリサイクルします

※たまごの表面にはクチクラ層という膜があり、微生物が内部に進入するのを防ぐ働きをする。クチクラ層を守るため洗わずに出荷している



産直たまごの新しい名前が決まりました！ 「産直たまご」の新しい名前が決められました！

生産者のこだわりがぎゅっと詰まった「産直たまご」。グリーンコープはもっと組合員に親んでもらおうと、産直たまごの新しい名称を募集していました。各単協の組合員から1441件もの応募があり、共同理事会で話しあった結果、グリーンコープ生協おかやまの福田未貴さんが考えた「元気いっぱい産直たまご」に決まりました。カタログ8号（5月7日週配布）から、名称変更し登場します。

福田さんは、お子さんたちが毎日産直たまごを食べる「元気いっぱい」に幼稚園や学校へ通っていること、産地から冷蔵のまま新鮮なたまごが届くということから、この名前を考えました。

生産者の努力で値下げが実現！ 予約して利用しましょう

ここ数年、産直たまごの利用が減ってきています。えさや飼育にまでこだわり自信を持つてつくったたまごが余ってしまい、生産者にとっては苦勞しています。このままでは産直たまごの生産が続けられなくなり、組合員が産直たまごを食べられなくなってしまうことにもなりかねません。

もともと多くの組合員に利用してもらいたいと、生産者と飼料メーカーが相談を重ね、コストを下げる努力をしました。その結果、10個パックで約30円の値引きを実現することができました。合わせて6個パックも新登場。さらに2パック以上注文すると値引きになるなど、価格・規格ともに利用しやすくなりました。

産直畜産物を守ろう 産直肉は一頭(一羽)まるごと引き取りです

余ることがないように いろいろな部位を食べましょう

安心・安全
こだわりの産直肉

グリーンコープの産直肉は、生産者との信頼関係で培われたグリーンコープオリジナルの方法とえさで育つ、内容のたっぷりした安心・安全なお肉です。えさはnon-GMO（遺伝子組み換えでない）でポストハーベストフリー（収穫後の農薬不使用、衛生管理を徹底して薬剤を極力使わずに、ストレスをかけないようにのびのびと育てられ、愛情込めてじっくりと育てられているからこそ、おいしいお肉になります。日本の農業を応援するため、飼料の国産化も追求しています。飼料に占める国

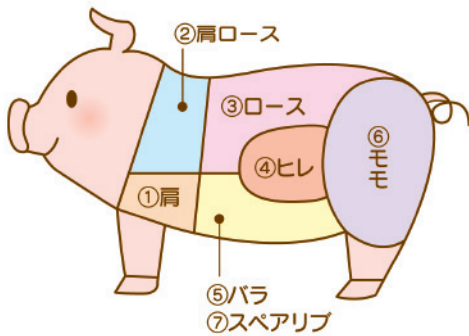
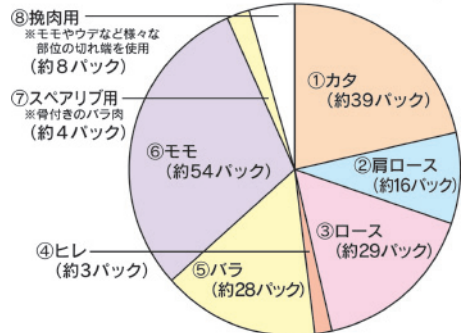
産飼料米の割合は、若鶏が10%、産直岡山ふたみ牛が10%、豚肉も6月から10%になります。余剰部位がでて困っている生産者とパッカー

待つこともできず、安い値で市場に出さざるを得なくなる場合もあります。その状態が続くと、生産者は安心して産直肉の生産を続けることができなくなります。産直肉の利用を広げよう

今年2月から、「いろいろな部位をバランスよく、みんなで利用し、産直生産者を応援しましょう！」キャンペーンとして、利用の少ない部位を5%引きの特価で案内したところ、多くの組合員が産直肉の利用の仕方を改めて意識したこと、たくさん注文が注ぎ込まれました。カタロググリーン46・52号のキャンペーン期間中、牛肉、鶏肉とも

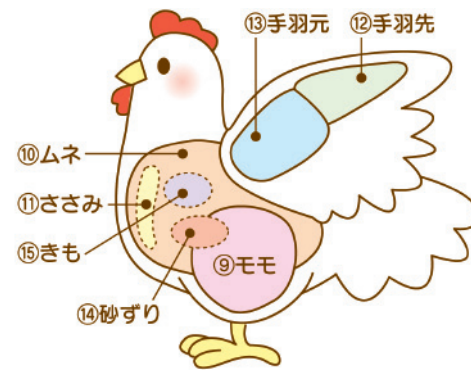
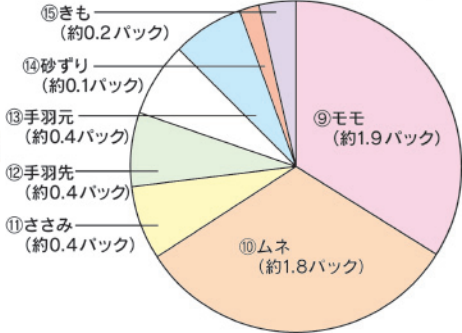
産直豚肉

一頭当りに占める部位ごとのパック数(1パック/300g)



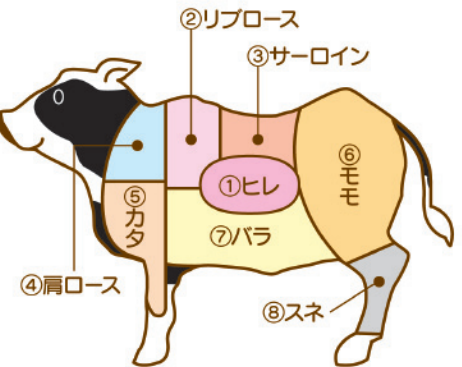
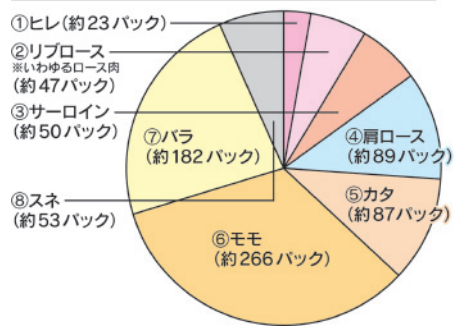
産直若鶏

一羽当りに占める部位ごとのパック数(1パック/300g)



産直国産牛

一頭当りに占める部位ごとのパック数(1パック/300g)



※肉をカット・スライスし、精肉パックに加工する業者

こよなく牛を愛する 人々が育てる

うちの生産者
岡山県加賀郡吉備中央町
岡山ふたみ牧場

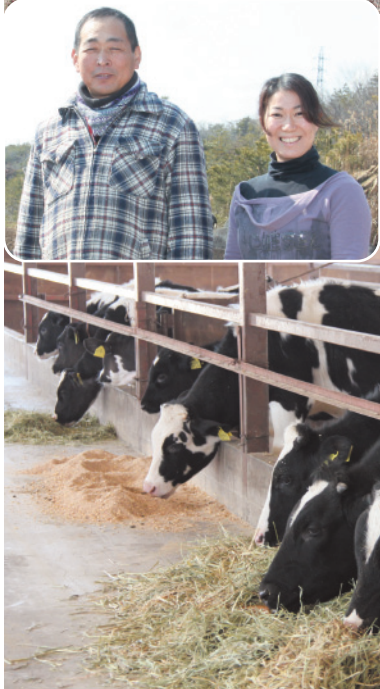
119

うちのメーカー



産直岡山ふたみ牛

東京ドーム21個分という広大な岡山ふたみ牧場
(2012年3月撮影)



左 宮本多津美さん
右 松下久美子さん

グリーンコープの産直の国産牛の産地は、北海道、大分県、鹿児島県、熊本県、岡山県にありま
す。飼料や飼育方法にこだわった安全で安心なお
いしい牛肉を生産しています。

4月からカタログGREENに登場した、国産
の飼料米を食べて育ったため産直岡山ふたみ牛を育
てる岡山ふたみ牧場(以下ふたみ牧場)を訪ね、
飼育に携わる宮本多津美さんと松下久美子さんに
話を聞きました。

広々とした牧場 ゆったりした牛舎

ふたみ牧場はグリーンコープの産直国産牛肉や産直豚肉のパッカーである(株)イサミの直営牧場。1970年代、牧場経営を始めた。当時から関西の生協との取引があり、安全性にこだわった畜産に取り組んでいた。産直国産牛の、グリーンコープへの納入は2000年からだ。

牧場は岡山県のほぼ中央、吉備高原にある。約1000ha(東京ドーム約21個分)という広さ。小高い丘や谷があり、さわやかな高原の気候は牧畜に適していると言われている。その中にゆったりとした牛舎があり、約500頭の牛が飼育され

安全で安心な 飼育+国産飼料

グリーンコープの産直国産牛は、主飼料の一つであるトウモロコシはnoni GMO(遺伝子組み換えでない)でポストハーベストフリー(収穫後農薬不使用)。肥育期間中は成長ホルモン剤やモネンシン(抗生物質)

を使用しない。流通経路が明確で徹底した管理体制が図られている、などの約束ごとがある。そのこだわりが安心して安全な産直国産牛肉をつくってきた。また、日本の農作物の自給率を上げ、日本の農業を守るために可能な限り国産の飼料を与えていくことを新たな取り組みとしている。

と、長年飼育に携わる宮本さんは話す。

何より大切な牛の健康

牛の肥育(肉として出荷するために育てる)で一番大切なのは、健康な牛を育てること。広い牛舎や清潔な環境は、牛のストレスを減らすだけでなく、病気に罹りにくくする。そして、毎日一頭一頭よく観察し、餌をやってもすぐに寄ってこないなど、気が掛かる様子があれば、できるだけ早く対応する。風邪かなと思えば、ハーブエキスを鼻に吹きかけてやります。たいていはそれでよくなり、いざいざと話す松本さんは、牛や豚が好きで大学で畜産を学び牧場に就職した。肥育牛のかわりやすい膨腸症(微生物の異常発生)の予防の

ために、一般的にはモネンシンを飼料に混ぜて与えている。しかし、モネンシンを使用しないふたみ牧場ではできるだけ早く発見して、ガスを抜くなどの手当を宮本さんと松本さんがする。餌やり、清掃、牛の健康管理などパートの1人と常時3人で作業を行っている。

一般的に国産牛は乳牛であるホルスタイン種の雄の去勢牛だ。近年、牛乳の消費量が減っていることから、ホルスタイン種の出産そのものが減っている。また、90%以上の確率で雌だけが生まれ、という性別別卵なども出回りはじめ、ホルスタイン種の雄の子牛は少なくなってきた。ふたみ牧場では子牛は全て岡山県の酪農家から仕入れたいと考えていたが、必要な頭数がそろわず、足りない分は北海道から仕入れている。

楽しい交流

これまで、夏に取り組み

「産直岡山ふたみ牛の肥育のながれ」

約50kg 出生
岡山県産の子牛を生後2~3週間から育てる

2か月 去勢
3か月 離乳
4か月

約260kg 6か月
北海道産の子牛は6か月から育てる

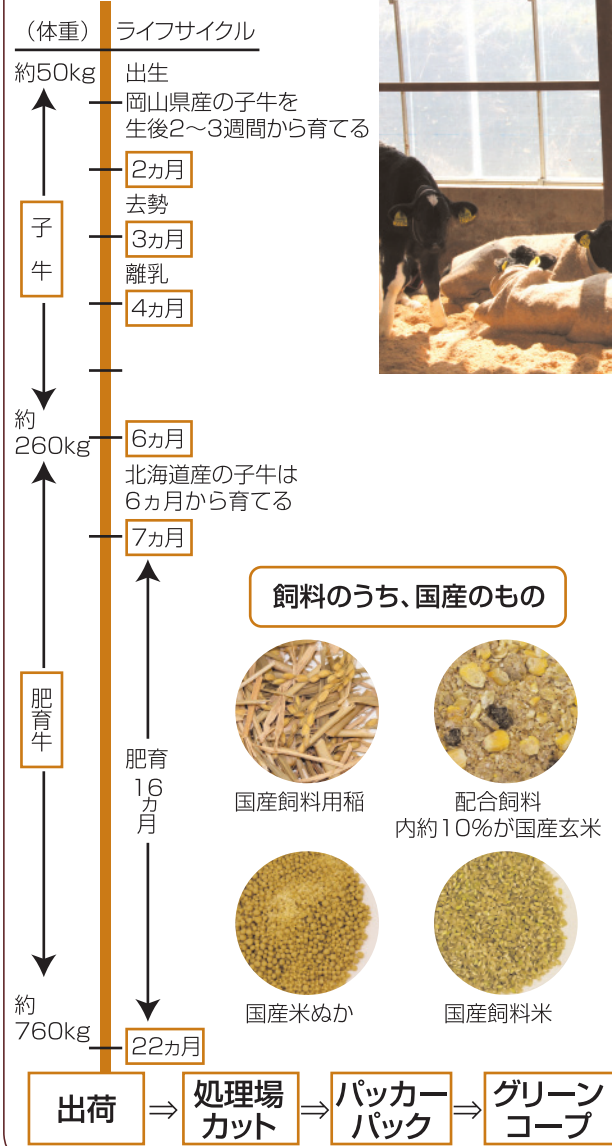
7か月

約760kg 22か月

出荷 → 処理場カット → パッカーパック → グリーンコープ

※肉をカット・スライスし、精肉パックに加工する業者

産直岡山ふたみ牛の肥育のながれ



飼料のうち、国産のもの

- 国産飼料用稲
- 配合飼料 内約10%が国産玄米
- 国産米ぬか
- 国産飼料米

震災一年後集会

どみどりのまま

どもたちに手渡すために～

2012年3月11日、東日本大震災一年後集会が、グリーンコープ共同主催で福岡市にて開催され、組合員など約400人が参加しました。

集会では、被災者への支援や被災地の復興に向けての取り組みのようすが報告され、震災で亡くなられた多くの方々の追悼し、今後支援を継続していくことを誓いました。

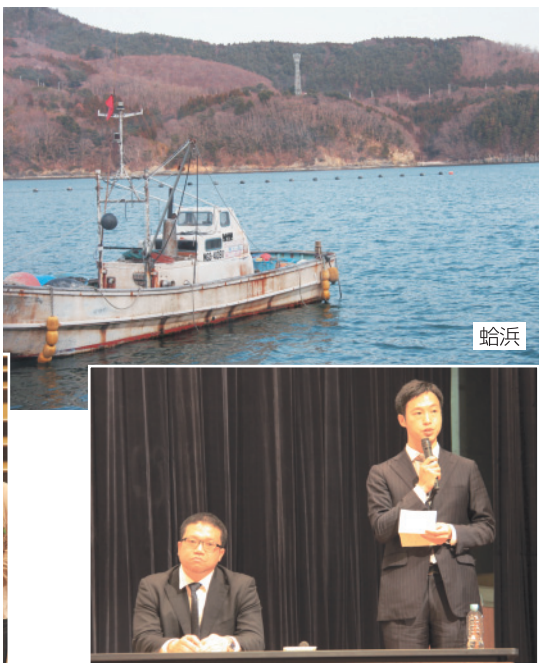
また、東京電力福島第一原発事故について、1年後の状況を確認し、脱原発社会を目指す取り組みが呼びかけられました。

笑顔が、再起の力に

共同体代表理事田中裕子さんの「震災から1年、西日本に暮らす私たちと被災地の方々へ流れた時間の重さや心身の傷の深さは、大きな違いがあります。そのことを忘れずに、これからも心を込めた支援を続けることを誓います」という挨拶から集会ははじまりました。

一般財団法人「共生地域創造財団」事務局長龍島一匡さんからは復興支援の1年間の歩みが報告された。「活動はみなさんの思いのこもった物資とカンパで成り立っています。組合員からの物資は10トトラック約50台分。有効に活用し、現在は10トトラック4台分の量を残すのみとなりました。支援団体が減ってきている中で冬服や毛布は、この冬に非常に役立ちました」。

また仮設住宅と在宅の被災者とは、支援に大きな差がある。行政などの支援が届きにくかったいちご農家(宮城県亘理町)をしていた在宅被災者からは、「一番つらかったときに支援してもらって、本当にありがたかった。どうにか暮らせるようになってきたけれど、これからも笑顔を見せに来てく



蛤浜

左から龍島さん、竹内さん

ださい」と言われ、龍島さんは人としてのつながりが求められていることを痛切に感じたという。その在宅被災者は、何もかもを失いあきらめかけていた農業を、再びはじめようとしている。今後は、大きくは3つの柱で活動がすすめられる。

①産業(農業・漁業)の復興支援(蛤浜・折浜のカキ、十三浜のわかめ、亘理町の加工用トマト・ナタネの栽培など) ②コミュニティがつけられるような手仕事「FUGURO」(「ふくろ」)がなまった「ふくろ」や布ぞうりづくり)などの支援 ③見守り支援(被災者を孤立させないために行政と連携しての絆サポート事業など)。

同財団の岩手県大船渡市を中心に活動している竹内隼人さんからも報告があった。大船渡市は市街地の半分が津波の被害にあっている。「グリーンコープからの物資には非常に助けられています。特に今冬の毛布は一軒一軒を訪ねて、グリーンコープから届けられたことを伝えていきます。遠くから見守ってくれている多くの人がいることを知ることが、勇気を得た方や救われた命があると私は思っ

届けられた感謝と思い

「信じられない。これが現実なのか。あの津波の中に人がいるのか。2011

います」。4月からは、市から委託を受けた在宅被災者のパーソナルサポートにも取り組む。出会った被災者からは孤独死や自死を出さないことを、ミッシヨンとして努力していくと竹内さんは話す。

宮城県石巻市、高橋徳治商店社長) 未曾有の犠牲を出したこの震災を機に、社会全体がこれまでのあり方を問い直すべきではないでしょうか。私の工場は皆さんの協力で、一部ですが稼働させることができました。感謝しています。しかし、これからも被災地の困難は続きます。3・11を忘れずに、息の長い支援をお願いいたします。

ビデオレター
デイサービスえん
宮城県山元町

福祉ワーカーズのみなさんの言動から「共助」や「共生」などを学び、元気が出ました。ありがとう！

ママサポーターズ
宮城県女川町
グリーンコープの支援物資で、子どもたちに喜んでもらえました。布ぞうりづくりに取り組んでいます。

WATALEIS(ワタリス)
宮城県亘理町
伝統的な「FUGURO(ふくろ)づくりをしています。財団からコミュニティづくりの場を提供してもらい、作業を通して人の輪が広がっています。

他にも、仮設住宅などに住む人々からは「リスのマークのトラックが来ると、うれしくてみんなが笑顔になるね」という声や、ピースヤム(宮城県仙沼市)、大船渡アクシオンネットワーク(岩手県大船渡市)、あすなるホーム(岩手県陸前

高田市)、亀山さん夫妻(宮城県石巻市蛤浜)、被災した生産者やメーカーなどからも感謝の言葉が届けられました。

震災が起きた午後2時46分には、会場の全員が黙祷し、被災地に思いを馳せ、亡くなられた多くの方を哀悼した。その後、奥田知志さん(一般財団法人「共生地域創造財団」代表理事)による「絆とは何か From EAST(東から)考える」という講演があった。

脱原発の歩を力強く進める
25年前のチェルノブイリ原発事故を受け、グリーンコープは、脱原発を訴えてきた。今回の東京電力の原発事故を受け、その歩みをいっそう確かなものにするために、「グリーンコープの脱原発へ向けた見解表明と行動提起」(抜粋を本紙次頁に掲載)がこしま理事長川原ひろみさん、ひろ

しま理事長林和子さん、(長崎)理事長高橋純子さんによって読み上げられた。続いて「脱原発政策の実践に向けて」をさが副理事長福島里美さんが提案。また、3月11日、電気を消してキャンドルナイトに取り組みしようという呼びかけを、共同体組織委員長大橋由美子さんから、次に継続して復興支援に取り組むための「第3次復興支援募金の呼びかけ」をくまもと理事長久米田薫さんが行った。

最後にみやぎ理事長永野清美さんが「被災地のみなさんのビデオレターなどを見ることで、とても身近に感じる事ができ、長期的な支援の必要性を強く思いました。また、グリーンコープの脱原発の取り組みを、今後ともみんなで力強く進めていきましょう」と集会を締めくくった。

※ホームページ「おしやべり広場ぐりんぐりん」の動画コミュニティに掲載

絆とは何か

～from EAST(東から)考える～

〈講演要旨〉



一般財団法人「共生地域創造財団」代表理事 奥田 知志さん

集会所まで上がったあの日。電気・ガスが2週間途絶えたまま、4世帯20人がしのいでいました。就寝は夕方6時でしたが、みな疲れて寝入っているような状況でした。そのような中、ある日亀山さんは、グリーンコープからの支援物資の中に組合員からの一枚の絵手紙を見つけています。そこにはこう書かれていたのです。

「今は涙が尽きないかもしれない。けれども、いつかきつと笑える日がくる。私たちは応援します」と。亀

「フロムイースト」東から聴くこと

あるのは人と人との繋がりなんだと思います。もちろん物資は必要です。けれども支えたのは「物」ではなく、物の向こう側にいる「人の存在」だったのです。大切なことを現地から考えさせられました。そのことが私たちの支援の方向性を定めるきっかけとなったのです。

も出ようと言ひ合える関係をつくっています。それは、自分たちを支える多くの人たちの思いと行動があったことでもあるのです。今回の出合いは震災と原発事故という苦難から生まれた出合いです。出合いの中からお互い言いたいことを言い、意見や要望を汲み上げ、議論を重ねていく、想定内ではない支援なのです。そこには若干の傷を含んでいます。人と人が関わり合う中では傷つくこともあるからです。今、蛤浜では、カキ養殖を通して雇用を生み出し、自立のための支援をしていきたいと考えています。支援をしようとするとき、私たちは気持ちよく支援したいと思うのです。け



女川浜周辺、たくさんの家があった港に近い住宅街

東日本大震災 ～みどりの地球を 子と

グリーンコープの脱原発へ向けた見解表明と行動提起 3.11を受けてグリーンコープは「脱原発政策」を さらに力強くすすめていきます

2012年3月7日
グリーンコープ共同体理事会

<前文略>

グリーンコープは、脱原発政策の実践として、次のような行動を呼びかけます。

1) 人類と原発は共存できないことを世界に訴えていきましょう

原爆によって多くの尊い命が一瞬にして奪われ、今なお被爆によって苦しんでいる人たちがたくさんおられます。原爆は尊い命、日々の暮らし、地域の人と人とのつながりを奪いました。戦争と核兵器がもたらしたものは何であったのか。人類と核兵器とは共存できないことを、8.6ヒロシマ、8.9ナガサキは世界に訴えてきました。そして東京電力福島第一原発事故によって、海も大気も大地も汚染されました。福島原発周辺の12万人という人々の暮らしの基盤が根こそぎ奪われ、多くの人々が被曝の恐怖に日々さらされ、生命が脅かされています。世界状況としてはドイツ、イタリア、スイスなどが脱原発を宣言しました。一方米国では東芝子会社の米原発大手ウェスチングハウス・エレクトリック社の原子炉を採用した原発の建設計画が複数あります。日本は今回の事故が起きてからもなお、諸外国に原発ビジネスを行い国益を集めようとしています。

私たちはこの3月11日に福島で起こった事実を胸に刻んで、人類と原発とは共存できないことを世界に訴えていきたいと思ひます。8.6ヒロシマ、8.9ナガサキとともに3.11を「すべての生命に祈りを捧げる日」とし、生命そのものを大切にすることを発信していきたいと思ひます。

2) 国に対して、エネルギー政策の転換を求めていきましょう

「原発はいらない!」の声を届け、原発の停止と廃炉、原発を推進するエネルギー政策からの大転換を強く訴えていきます。

1. 原子力発電所の新規計画を中止し、既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施することを求めます。
2. もっとも危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」および核燃料再処理工場やプルサーマルを運転せず、廃棄することを求めます。
3. 国民に放射能に関する正確な情報を迅速に届けることを求めます。
4. 放射能に汚染された瓦礫を広域に移動させないことを求めます。
5. 電力会社の地域独占を廃止し、送電部門を分離・独立させ、電気事業を自由化することを求めます。
6. 「みんなで決めよう『原発』国民投票」の制度作りを求めます。
7. 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えたエネルギー政策への転換を早急に始めることを求めます。

3) 地方自治体に脱原発を求める市民の声を届けましょう

3.11以降、脱原発を意思表示する自治体首長が次々と現れています。国政への働きかけと並行して地方議会、首長へと働きかけることは、大きな力になります。

グリーンコープエリア内の川内原発1号機・2号機の廃炉と3号機増設の白紙撤回を求める取り組み、玄海原発プルサーマル問題、2号機、3号機定期検査再稼働中止を求める取り組み、島根原発運転停止を求める取り組み、上関原発建設計画白紙化の取り組みなど、原発に関わる問題を可能な限りオールグリーンコープで取り組みます。

4) 電力会社に原発廃止とともに、再生可能エネルギー発電の推進を求めましょう

原子力発電所の停止、廃炉を求めていくとともに、再生可能エネルギー発電の積極的な推進を呼び掛けていくことを具体的に検討し、すすめていきたいと思ひます。

5) 脱原発政策の実践活動、再生可能エネルギー発電を実現していきましょう

事業活動においては、食品の放射能自主測定と情報公開の継続は重要な課題です。また、脱原発の実現にむけて、事業者としての節電、照明のLED化、自動販売機撤廃、その他可能なことを検討し実行していきます。

組合員活動としては、脱原発政策を再確認し、3.11を受けての今後のすすめかたを広く共有していきます。自らの暮らしを見直すことから、一人ひとりの力と想いを結果として、脱原発の全国行動をつくり、協力しあえる諸団体とともに地域への賛同の広がりや世界に発信する市民行動に取り組みたいと思ひます。具体的には、署名活動、集会やパレードなどの行動、学習や情報収集、グリーンコープ内外への広報活動が考えられます。

電力問題について、国や電力会社任せにしてきたことが原子力発電の問題を起こしたとも言えます。原発をとめれば済む問題ではなく、エネルギー問題の解決に取り組みなければ問題は解決できません。国や電力会社任せにしないで市民と市民との連帯と実践によって、私たちが解決の主体となって問題解決に取り組みます。再生可能エネルギーのような代替エネルギーによる電力事業に取り組むことを組合員のみなさんに呼びかけていきます。

一部掲載



「グリーンコープの脱原発へ向けた見解表明と行動提起」を読み上げる左からかごしま理事長川原さん、ひろしま理事長長林さん、(長崎)理事長高橋さん 午後2時46分、黙祷

1年3月11日、目を覆う言葉もでない大惨事が起こりました。あれから1年。被災地には今なお悲しみの中で生きている人たちが大勢います。私は、「今まで私たちは何を信じてきたのか」このことを問われた1年だったと思つています。守つてきたものの多くが奪い去られたのです。この社会はいつたい何を大事にしてきたのでしょうか。そして何を大きく失つたのでしょうか。今、おおもとの問いに立たされたと思つています。

言葉の力

震災直後の3月末、初めて蛤浜(宮城県石巻市の漁村)へ行き亀山さんに会いました。瓦礫の上に畳を敷いて道を作り、高台にある

山さんは、「これで生きさせている」と言われたので、震災ですべてを失い、悲しみや失意に打ちひしがれながら、今、生きている自分たちがいる。しかし、食べる、寝る、最低限必要なものがないと生きられないという生活時間は刻々と進んでいます。私は、これまでのホームレス・生活困窮者等を支援していく中で、どんなときも「人を生かす」のは「言葉の力」ではないだろうかと思つたのです。それは人と人との絆から生まれるものなのです。今回、被災地で「生きていく力」となったのが、この一枚の手紙なんだと思ひます。私は、人にとつて、なくてはならないものはつきりが見せてもらったような気がします。根つこのところに

傷を含んだ絆とは

亀山さんは、「2カ月間貫いたものを食べているのはありがたいけど、つらい」と言われていました。今は、支援を受けるのが心苦しいということを超えて、相互性のある復興支援へと向かっています。互いの葬式に

れども想定した支援には傷を含みません。傷を含んでこそ本当の絆となります。その覚悟が、震災2年目の課題として必要なのです。そして困窮者の支援には相互性が必要だということを私たちは忘れてはいけません。その絆には、当然傷が含まれます。含まれなくては意味がないからです。昨年、「共生地域創造財団」が生まれました。あつてはならない苦難からではありましたが、東北の被災地との新たな出会いでした。私たちの生き方を問う出会いの始まりです。支援が終わつたら、復興のめどがいついたら終わりではありません。これからも相互性を持つ関係と新しい地域を、長期にわたつていっしょに創つていきたいと思ひます。

利用者に寄り添い、生活の再生を支援する生活再生相談

グリーンコープでは、5つの単協で生活再生事業に取り組んでいます。2006年に福岡県でスタートした生活再生相談室は、熊本県、大分県、山口県、長崎県へと広がり、8つの相談室で相談・貸付を行っています。

グリーンコープの生活再生相談のような多重債務者への伴走型の家計アドバイスを含む生活支援は他に例がなく、全国的に注目されている事業です。事業開始からこれまでの取り組みを検証し、より多くの相談者の生活の再生につながる支援を行うために、調査研究を2010年から2年間にわたって行ってきました。

その取り組み報告をお知らせします。



インタビュー調査の反省会のような様子

これまでの生活再生貸付利用者は、およそ1200件（2011年12月現在）で、その貸し倒れ率はきわめて低く、多くの方々、あるいは家庭が、生活再生に向かつて立て直しを進めている状況です。これまで生活再生相談室では、この事業の取り組みの中で何がどのように影響し、相談者の役に立っているのか、あるいは何が足りていないのかを検証できていませんでした。



生活再生相談室 北島千恵さん
生活再生ワークス「ともに」代表

そこで、生活再生相談室は、2010年、2011年と2年にわたり、厚生労働省の補助金を受けて、「生活再生貸付利用者の生活再生支援に関する調査事業」に取り組みました。2010年度は、生活再生貸付利用者528件の貸付時の状況を調査分析し、2011年度の実態調査の項目を検討しました。2011年度の実態調査事業は、まず事業開始から3年半の間の貸付利用者386人へアンケート調査を実施し、176人から回答を得ることができました。その後の面接訪問調査では、福岡県立大学3年生の6人の学生さん、「家計とくらしのワークス」のメンバー11人、生活再生ワークス「ともに」のメンバー16人が協力し、70人の貸付相談利用者を訪問して、インタビュー形式の調査を行いました。



「この事業を知らせてほしい」「この事業がある県に住んでいてよかった」という意見もあり、今以上にグリーンコープ内外への広報活動に取り組みでいきたいと思っています。「対等にじっくり話を聞いてもらえたことが、うれしかった」など、相談員にとって励みになるような言葉もたくさんありました。

今回の調査活動を通して、生活の再生に向けて相談者自身で課題を解決していくことをサポートできるような相談のあり方へ高めていかなければならないことを実感しました。今後も相談員のレベルアップに努めていきたいと思っています。（生活再生相談室 北島千恵）



今回の調査・研究を協働で行った家計とくらしのワークス「ともに」代表 吉見やよいさん

多重債務に陥らないための予防や金銭教育を行っていく上でも、とても参考になりました。今回の貴重な体験を生かし、生活再生ワークス「ともに」と協力して進めていきたいと考えます。



調査に参加し、報告をする福岡県立大学の3年生の皆さん



今回の調査・研究の委員長で、学生の指導にあたった福岡県立大学教員 堤 圭史郎さん

今回の生活再生事業の調査研究は「人生の伴走的支援」の指針になる

今回の調査では、相談者の皆様のご自宅に伺い、貴重な話を沢山聞かせていただいた。生活が苦しくなる背景を、貸付前の状況だけでなくプロセスを追うように把握することが支援においても重要だと改めて実感した。調査結果は伴走的な支援がどうあるべきかの指針にもなるものだと思う。

また、本学、人間社会学部公共社会学科の学生6人も調査に参加した。参加した学生からは、「誰もがこのようなことになる可能性をもっていることを実感した」「ちょっとしたきっかけであり、決して他人事ではないと感じた」「本人の責任ではないという偏見を持っていたが、個人だけでは解決できない社会の問題だと思った」「メモのとり方一つでも、社会人としての心構えを学んだ」という感想が寄せられた。

社会学や福祉を学ぶ学生にとって、現代社会が抱える課題に真剣に向き合う貴重な機会だった。また、社会人である相談員と協働して調査をした経験は、今後社会に出て行く際に役立つはずだ。このような機会を与えていただいたことに感謝している。



No.45

グリーンコープが放射能検査をしている理由

原子力発電所の事故による放射性物質の拡散が大きな問題となっています。放射性物質は事故時に相当量が放出され、その後も土壌、大気そして川や海を汚染し続けています。

グリーンコープは、「放射能汚染の事実を組合員ときちんと共有し、できる限りのことを行って、いのちを守っていく」という方針を、2011年6月の共同体総会で決議しました。グリーンコープは独自の「放射能測定室」を設置し、食べものの残留放射能検査をおこない、検査結果は「共生の時代」(機関紙)やホームページで公開しています。グリーンコープは放射性セシウムについて10ベクレル/kgを自主基準としています。この基準を超えるものが出た場合、共同体理事会でその商品を供給するかどうかを検討することになっています。

子どもたちの未来を守る大人の責任として、私たちは「放射能汚染の事実を組合員ときちんと共有し、できる限りのことを行って、いのちを守って」いきます。

参考文献： グリーンコープ共同体第五期通常総会特別決議
グリーンコープ共同体組織委員会

子育ての新たな支援 はじまりました

グリーンコープ

香椎照葉幼稚園が 開所しました



4月4日、落成式が開催され、グリーンコープからは共同体理事45人が参加し、園児・保護者を含め、約110人が集まりました。

落成式では、まず、学校法人グリーンコープ香椎照葉幼稚園設立発起人会代表の行岡良治さんが、「これまで『香椎幼稚園』の存続について尽力された保護者、職員の方々の思いを受け止め、これからもグリーンコープと一緒に前を向いて進んでいきましょう」と決意を新たに挨拶しました。そして「一年後は認可を得てまた必ずお会いしましょう」と力強く話しました。

次に、設立発起人会の共同代表の田中裕子さんが、「香椎幼稚園の関係者の方々との出会いに感謝し、母親と子どもたちが心豊かに育つ場所を見守っていききたい」と話しました。同じく共同代表の田原幸子さんは、「子どもたちの『ずっと先生やお友だちといっしょに過ごしたい』という思いに突き動かされ多くの議論を重ねてきました。今日の日が迎えられることに安堵しています」と話しました。

また、保護者会代表は、「閉園の話が出たときは、行事も人数も少なくなるのでは、子どもたちは寂しい思いをするのではと思うと、胸が苦しくなりましたが、今日、この地でまた楽しい園生活を笑顔で迎えられることに感謝します」と挨拶しました。

続いて園長の田北和子さんは、「幼稚園の職員、保護者の方々の思いとグリーンコープの組合員さんの思いが合わさることで、1たす1が2ではなく、10にも100にでもなると思います。そして集団保育の中で自ら行動できる子どもとなるような社会性を育む幼稚園となるよう邁進していきます」と強い決意で話しました。

また、週3回の給食について、グリーンコープ三苦店ワークスから総菜を調達することや、子育てサポートワークス「ぶらんこ」が、炊飯や配膳、後片付けを担当するなど、4月12日の入園式からの園でのバックアップ態勢が万全なことも報告されました。落成式後、施設内覧会があり、ムク材をベースにした木の温もりのある園内が披露されました。

グリーンコープは2011年7月、熊本市にグリーンコープとしては初めての認可外保育所「げんきの森こども園」を開所し、新たな子育て支援への取り組みを開始しました。

そして2012年春、福岡市に認可保育所「松島りすの森保育園」と「香椎照葉幼稚園」を開所しました。「香椎照葉幼稚園」は1年後の学校法人認可を目指して、幼児教育施設としてのスタートです。

松島りすの森保育園



「大きなお家」のイメージ通りの瓦屋根。太陽光発電も備えている

4月2日には入園式があり、80人の子どもたちが元気に通いはじめています。先立って行われた3月24日の落成式の様子をお知らせします。



グリーンコープかごしま
生協理事長
川原ひろみさん

落成式では、社団法人福岡市保育協会の副理事長や、地域の松島校区自治協議会会長の挨拶の後、グリーンコープ共同代表理事の田中裕子さんから「4月からは、ここに並ぶ保育士のみならず、木の香る温かい建物に迎えられて、元気に通ってくる子どもたちの姿が目に見えます。グリーンコープが願う、母親たちが安心して子育てができるこの場所が、地域にも愛されて、子どもたちが幸せに未来をつくっていただける場所になれば」と話しました。



グリーンコープ共同代表理事
田中裕子さん

その後のレセプションでは、かごしま理事長の川原ひろみさんから「グリーンコープの子育ての理想の一つが形になりました。これがオールグリーンコープに広がって、私たちの地域でも実現できればと思います」。また子育てサポートセンターからは「こんなになりつばな保育園ができたことを嬉しく思います。これから、私たちもできることを支援したいと思っております」とそれぞれお祝いのメッセージが述べられました。



子育てサポートセンター
管理者代表
田中千代子さん



▲ランチルーム。家庭のリビングをイメージ。みんなで楽しく食事ができるように考えられています

子どもたちが自分
で育ていくように「見
守る保育」を目指し
ます



園長 林 伸子さん



▲隣のランチルームから60cmぐらいた低床を下げた調理室。給食の先生と子どもたちの視線が合い、会話ができる。間の仕切りは開き、子どもたちは給食を作っているときの音、香りなどを五感で感じられる



▲園舎に入ってすぐに調理室の様子が見える



明るい保育室



▲保育士の紹介

これからは私たちが丸くなって、子どもたちが生き生きと楽しく毎日過ごせるように見守っていきます



▲子育てを中心に地域のつながりが広がる地域交流室

▶雨水タンク。他にポンプもあり、井戸水も使用できる



「松島りすの森保育園」について詳しい情報はホームページをご覧ください。http://www.fukushi-greencoop.or.jp/risunomori/

ご挨拶



社会福祉法人
グリーンコープ
理事長 行岡良治さん

グリーンコープは今から30年ほど前、母親たちが子どもたちを育てていくために、子どもたちの身体（からだ）をつくる「食べもの」から生命（いのち）が失われてしまっている実情を憂い、子どもたちに与える「食べもの」の問題を解決するために産み出した生協です。だから、グリーンコープは誕生したときから、まずは「食べもの」の問題の解決に全力で尽くしていくことを前提に、いずれ母親たちの「子育て」の問題そのものに取り組みする生協になれるように、成長していくことが期待されています。

されていました。しかし、「食べもの」の問題を越えることがなかなか出来ないまま、30年が経過しました。そして本日、グリーンコープとしての「はじめの認可保育所「松島りすの森保育園」の落成式をようやく迎えることが出来ました。

近い将来、学校法人グリーンコープを設立し、認可幼稚園を開所する準備も着々と進めさせているところです。さらに今後、認可保育所はもとより、認可外保育所も、各地に「大きなお家」と開所していきたく願っています。

DV被害者支援の輪を広げていく

いま地域を考える

No.223



左から事務局の溝口さん、代表の団野さん、ボランティア支援スタッフの於保さん

女性と子どもの被害者支援グループ

コーリング佐賀



佐賀市にある女性と子どもの支援グループ「O-Ring佐賀（以下、コーリング佐賀）」は、配偶者等からの暴力（DV）や性犯罪等の暴力による被害を受けている女性や子どもを支援するために、2011年3月28日に誕生した。配偶者等からの被害者支援の経験を積み重ねたメンバーが中心になって立ち上げた。グループ代表で弁護士の方野克己さん、事務局の溝口ふじこさん、ボランティア支援スタッフの於保さつきさん（グリーンコープ生協さが組合員）に話を聞いた。

民間の被害者支援活動も大事

佐賀県が、2009年度に男女共同参画社会づくりのために行った「佐賀県民意識調査」の結果、暴力を受けた時相談しなかった女性の割合は69.1%と他自治体よりも高かった。

コーリング佐賀事務局の溝口さんは、元DVの被害者だ。DVや児童虐待などの暴力による被害は、解決しなければならぬ深刻な問題がたくさんあることを、身をもって実感してきた。佐賀県には、2010年まではDVや児童虐待等による暴力被害者を支援する民間の団体が少なく、もっと相談できる窓口が身近にあればと、行政の支援の隙間を民間活動で埋める必要性を実感していた。

支援者同士のネットワークが重要

誰かがはじめれば賛同者は多いと考えた溝口さんは、これまで共に支援にあたってきた他の相談員をはじめ、病院のソシ

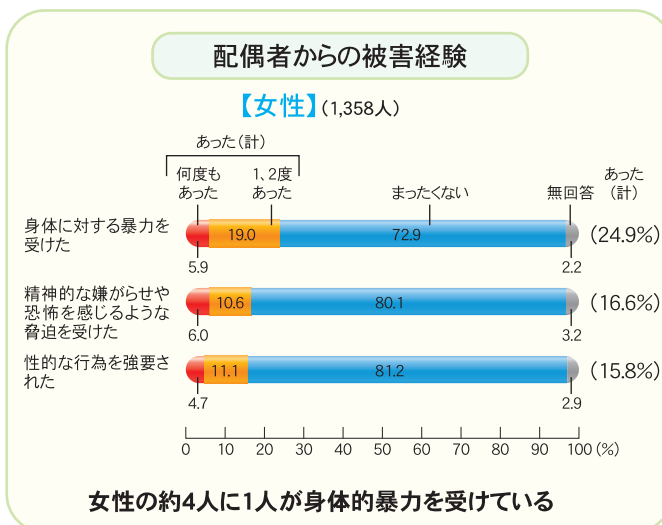
「平成21年度男女共同参画社会づくりのための佐賀県民意識調査結果報告書」より

配偶者や恋人からの暴力を受けた経験

精神的暴力…女性24.2%、男性9.8%
身体的暴力…女性7.5%、男性1.3%
性的暴力…女性9.1%、男性1.3%
経済的暴力…女性6.1%、男性2.4%

暴力を受けたときの相談の有無と相談先

公的機関(警察・病院・市町窓口など)への相談は、各機関とも5%以下と少ない。被害が公的相談窓口に乗がっているケースはごく一部で、未だ潜在化している。



女性の約4人に1人が身体的暴力を受けている

「男女間における暴力に関する調査」結果より (2009年3月公表 内閣府)

被害者に寄り添う活動

コーリング佐賀は、被害者への支援として、電話相談をはじめ、家庭裁判所の調停や法律事務所、医療機関などへの同行支援、被害者を行政の窓口に乗ぐなども行いたいと考えている。被害者にとっては初めての経験が多く、弁護士との接見では緊張する。弁護士との会話を誤解してしまうことも時にはあるが、同行支援者が弁護士の真意を伝えると理解がすすむ。信頼が高まり、後の支援がスムーズになる。だから、同行支援には力量が必要だ。そのためには場数を踏む必要がある。団野さんは、「暴力を受け心理的にも病んでいる人がいますが、一目では分かりません。また、暴力を受けているのに、受けていないと言ったりする人もいます。女性の支援者が同行すると、被害者の状況が分かりやすくなります」と

支援者のスキルアップは欠かせない

2011年度に力を入れた取り組みが、コーリング佐賀が主催し、佐賀県弁護士会と開催した電話相談員を養成する「ボランティア支援スタッフ養成講座」。プログラムは、「DVとは」といった基礎的なことから始まり、「DV被害者の心的状況」「女性と子どもの人権」「DV被害者との重債務問題」「被害者の自立に向けて」等、専門的だが分かりやすい内容だ。精神科医、社会福祉士、弁護士、産婦人科医、警察官、臨床心理士、行政関係者などが無料で講師を引き受けてくれた。定員20人はすぐに埋まり、講座終了後には約10人が電話相談のボランティア支援スタッフになつてくれた。於保さんは「現スタッフも改めて考えさせられる内容でも勉強になりました。今後も継続した研修が必要だと実感しました」と話す。今年も養成講座を予定している。

まずは、これがDVだという啓発活動を

DV被害者については被害者も悪いなどの偏見も多い。DVに関する啓発活動も重要だ。2011年6月に開催したグループ結成記念フォーラム「DVへの視点と切れ目のない被害者支援を目指して」には、DV被害にあつた当事者の参加

2012年3月の組合員数 385768人 (3/20現在)

リユースリサイクルデータ 2012年2月分 回収本数 840,825本 回収率 98.7% (1月15日～2月18日回収分)	牛乳びん 回収本数 840,825本 回収率 98.7% (1月15日～2月18日回収分)	フードマイレージ 2009年9月から2012年3月までに組合員の利用によってたまったのは 164,500,495.0 poco CO2に換算して16,450トン削減したことになります
リユースびん 回収本数 125,776本 回収率 50.3%	トレー 回収重量 9,306kg 回収率 50.1%	アジア民衆基金 2009年4月から2012年3月までに組合員の利用によってたまったのは 22,235,580円
モールドバック 回収重量 27,920kg 回収率 99.3%	仕分け袋 回収重量 1,606kg 回収率 13.0%	

放射能汚染測定結果は、別紙の残留放射能検査結果に掲載しています。

人と人が繋がって広がる支援を目指す

佐賀県には被害者救済のためのシェルターがない。団野さんは「シェルターは必ず必要になりますよ」と話す。また、コーリング佐賀では子どもの支援までできていない。於保さんは「今はメンバーが個人で子どもの支援に取り組んでいる状況ですが、やるしかありません。避難後も子ども

※1 Domestic Violenceの略。夫や恋人など親密な関係にある男女(パートナー)間において、主に男性から女性に加えられる身体的・精神的・性的な暴力
※2 DV被害者等を、加害者から隔離し、保護するための施設

共生の時代

別紙

●発行 グリーンコープ共同体育理事会
 ●編集 共生の時代・編集部
 〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 カーニブレイス博多3階
 ●電話 (092) 481-7923 ●FAX (092) 481-7876
 ●ホームページ: <http://www.greencoop.or.jp/>

放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)

東京電力の原子力発電所の事故を受けて行った残留放射能検査結果⑫

2012年2月3日から4月18日までに検査した256品目の内、4品目でグリーンコープの自主基準である10ベクレル/kgの範囲内で検出が認められました。2012年4月から国の放射性セシウム規制が強化され、飲料水は10ベクレル/kg、牛乳・乳幼児食品は50ベクレル/kg、一般食品は100ベクレル/kgとなりました。グリーンコープは従来どおり、10ベクレル/kgを自主基準とし、10ベクレル/kg以上の数値が出た場合、理事会に報告し、取り扱いについて検討・決定することになっています。

検出限界値未満の表記については分かりにくいとの声があることから、検出せず(検出限界値未満)の表記に変更しました。

※検査法の記号「Ge」はゲルマニウム半導体検出器での測定であることを示しています

「NaI」はNaIシンチレーションスペクトロメータでの測定であることを示しています

「検出限界値」とは、放射能検査において測定できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。

番号	商品名	製造地・生産地	製造日・収穫日等	測定日	検査法 (Ge/NaI)	ヨウ素-131		セシウム-134		セシウム-137	
						結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)
742	北海道産小麦(強力)	福岡県福岡市	2012/4/18製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.97	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	1.06
741	ちいさなため絹豆腐	広島県三原市	2012/4/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.88	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	0.68
740	生おから	広島県三原市	2012/4/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.00	検出せず(検出限界値未満)	1.10	検出せず(検出限界値未満)	1.51
739	無調整豆乳	広島県三原市	2012/4/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.84	検出せず(検出限界値未満)	1.05	検出せず(検出限界値未満)	1.11
738	産直たけのこ(下郷農協)	大分県中津市	2012/4/16採取	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.14	検出せず(検出限界値未満)	1.34	検出せず(検出限界値未満)	1.77
737	ツナフレーク缶(オイル調理)	静岡県静岡市	2012/2/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.79	検出せず(検出限界値未満)	0.93	検出せず(検出限界値未満)	0.84
736	かつおフレーク缶(オイル調理)	静岡県静岡市	2011/12/8製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.77	検出せず(検出限界値未満)	0.83	検出せず(検出限界値未満)	0.98
735	ふんわりとろり豆腐(ゆず醤油付き)	広島県三原市	2012/4/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.72	検出せず(検出限界値未満)	1.10	検出せず(検出限界値未満)	0.88
734	ツナフレーク缶(野菜スープ調理)	静岡県静岡市	2012/3/2製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.85	検出せず(検出限界値未満)	0.89	検出せず(検出限界値未満)	0.80
733	ふんわりとろり豆腐(牡蠣醤油付)	広島県三原市	2012/4/17製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.86	検出せず(検出限界値未満)	0.80	検出せず(検出限界値未満)	0.83
732	かつおフレーク缶(野菜スープ調理)	静岡県静岡市	2012/2/20製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.66	検出せず(検出限界値未満)	0.58	検出せず(検出限界値未満)	0.80
731	産直なす(八女の郷)	福岡県みやま市	2012/4/16収穫	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.16	検出せず(検出限界値未満)	1.55	検出せず(検出限界値未満)	1.27
730	ブラックココアサンドビスケット	神奈川県横浜	2012/4/16製造	2012/4/18	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.29	検出せず(検出限界値未満)	1.48	検出せず(検出限界値未満)	1.39
729	花えび	岩手県三陸沖	(原料おきあみ)2012/3/14水揚	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.74	検出せず(検出限界値未満)	2.01	検出せず(検出限界値未満)	2.14
728	産直しモン(三原農協せとだ)	広島県尾道市	2012/4/8収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.96	検出せず(検出限界値未満)	1.06	検出せず(検出限界値未満)	1.23
727	産直りんご(アンビシヤス)(津軽みらい農協石川)	青森県弘前市	2011/11/9収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.02	検出せず(検出限界値未満)	1.33	検出せず(検出限界値未満)	1.22
726	産直クインシーメロン(肥後七草会)	熊本県宇城市	2012/4/14収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.96	検出せず(検出限界値未満)	0.98	検出せず(検出限界値未満)	1.25
725	産直なら(八女の郷)	福岡県みやま市	2012/4/16収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.47	検出せず(検出限界値未満)	1.90	検出せず(検出限界値未満)	1.91
724	産直ベリー(八女の郷)	福岡県八女市	2012/4/16収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.89	検出せず(検出限界値未満)	1.21	検出せず(検出限界値未満)	1.26
723	産直りんご(シナノゴールド)(津軽みらい農協石川)	青森県南津軽郡	2011/10/22収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.06	検出せず(検出限界値未満)	1.42	検出せず(検出限界値未満)	1.42
722	産直ベリー(八女の郷)	熊本県八代市	2012/4/16収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.94	検出せず(検出限界値未満)	1.29	検出せず(検出限界値未満)	1.60
721	産直ブロッコリー(肥後七草会)	熊本県八代市	2012/4/16収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.38	検出せず(検出限界値未満)	1.34	検出せず(検出限界値未満)	1.20
720	全粒粉入りビスケットチョコサンド	神奈川県横浜	2012/3/26製造	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.26	検出せず(検出限界値未満)	1.29	検出せず(検出限界値未満)	1.49
719	産直しモン(アクリネット)	熊本県熊本	2012/4/10収穫	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.77	検出せず(検出限界値未満)	0.79	検出せず(検出限界値未満)	0.98
718	ミルクビスケット	愛知県名古屋	2012/1/25製造	2012/4/17	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.39	検出せず(検出限界値未満)	1.59	検出せず(検出限界値未満)	1.71
717	おやつ昆布	兵庫県加古川市	2012/2/24製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.54	検出せず(検出限界値未満)	1.89	検出せず(検出限界値未満)	2.18
716	サラダクラッカー	愛知県名古屋	2012/3/2製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.30	検出せず(検出限界値未満)	1.65	検出せず(検出限界値未満)	1.60
715	産直ほうれん草(島根おやさい本舗)	島根県松江市	2012/4/15収穫	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.12	検出せず(検出限界値未満)	1.58	検出せず(検出限界値未満)	1.77
714	フィンガービスケット	愛知県名古屋	2012/3/4製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.67	検出せず(検出限界値未満)	1.98	検出せず(検出限界値未満)	1.58
713	コーヒースーリーの素	広島県尾道市	2011/8/30製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.00	検出せず(検出限界値未満)	0.92	検出せず(検出限界値未満)	1.13
712	夕吹き昆布	兵庫県加古川市	2011/12/10製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.81	検出せず(検出限界値未満)	1.84	検出せず(検出限界値未満)	1.73
711	奄美きびさと	熊本県さと	2012/4/13製造	2012/4/16	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.64	検出せず(検出限界値未満)	0.89	検出せず(検出限界値未満)	0.71
710	有機静岡産むし初摘み新茶(生葉)	静岡県牧之原市	2012/4/13採取	2012/4/14	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.80	1.87	0.91	検出せず(検出限界値未満)	1.17
709	おさかなソーセージミニ	福岡県北九州市	2012/4/12製造	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.70	検出せず(検出限界値未満)	0.72	検出せず(検出限界値未満)	0.89
708	赤魚(米国産)煮魚用切身	宮城県石巻市	2012/4/10製造	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.77	検出せず(検出限界値未満)	0.95	検出せず(検出限界値未満)	1.05
707	おさかなソーセージ	福岡県福岡市	2012/3/19製造	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.95	検出せず(検出限界値未満)	1.25	検出せず(検出限界値未満)	1.47
706	沖塩紅鮭切身	北海道道東沖	(原料鮭)2010年6~7月水揚	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.93	検出せず(検出限界値未満)	0.79	検出せず(検出限界値未満)	1.13
705	八女野新茶(生葉)	福岡県八女市	2012/4/12採取	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.50	検出せず(検出限界値未満)	1.34	検出せず(検出限界値未満)	1.63
704	有機かごしま知覧茶(生葉)	鹿児島県川辺郡	2012/4/12採取	2012/4/13	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.39	検出せず(検出限界値未満)	1.53	検出せず(検出限界値未満)	1.53
703	北海道産秋鮭切身(骨・皮取り)	北海道道東沖	(原料鮭)2011年9~10月水揚	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.90	検出せず(検出限界値未満)	0.88	検出せず(検出限界値未満)	1.19
702	唐津産寒さば閉き	佐賀県唐津港	(原料さんま)2011/11/29水揚	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.85	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	0.95
701	北海道産バクサンま	北海道道東沖	(原料さんま)2011/10/23水揚	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.77	検出せず(検出限界値未満)	0.95	検出せず(検出限界値未満)	0.95
700	若鶏のしゅうまい徳用(冷凍)	福岡県久留米市	2012/2/2製造	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.72	検出せず(検出限界値未満)	0.89	検出せず(検出限界値未満)	1.07
699	緑茶船	鹿児島県曾於郡	2012/3/15~16製造	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.14	検出せず(検出限界値未満)	1.10	検出せず(検出限界値未満)	0.97
698	食べるいりこちゃん	長崎県長崎市	2012/4/11製造	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.65	検出せず(検出限界値未満)	1.48	検出せず(検出限界値未満)	1.73
697	半生造り黒砂糖船	鹿児島県曾於郡	2012/3/6,2012/3/14~15製造	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.19	検出せず(検出限界値未満)	1.18	検出せず(検出限界値未満)	1.37
696	素焼きカシューナッツ	兵庫県神戸市	2012/3/31製造	2012/4/12	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	1.06	2.94	1.42
695	うの花クッキー	愛知県小牧市	2012/2/20製造	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.24	検出せず(検出限界値未満)	1.55	検出せず(検出限界値未満)	1.40
694	オーブントスターで若鶏なんこつ(唐揚げ)	熊本県上益城郡	2012/4/6製造	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.75	検出せず(検出限界値未満)	1.01	検出せず(検出限界値未満)	0.91
693	産直里芋(蒲田園芸部会)	熊本県菊池郡	2012/4/11収穫	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	1.34	検出せず(検出限界値未満)	1.37
692	オーブントスターで若鶏せせりの唐揚げ	熊本県上益城郡	2012/4/6製造	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.90	検出せず(検出限界値未満)	0.87	検出せず(検出限界値未満)	1.02
691	本格派カンパン	山梨県甲府市	2011年9/19製造	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.37	検出せず(検出限界値未満)	1.23	検出せず(検出限界値未満)	1.23
690	完熟マンゴーキャンディ	鹿児島県曾於郡	2012/1/11製造	2012/4/11	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.82	検出せず(検出限界値未満)	0.62	検出せず(検出限界値未満)	0.82
689	産直白ねぎ(糸島BM農法研究会)	福岡県糸島市	2012/4/2収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.13	検出せず(検出限界値未満)	1.41	検出せず(検出限界値未満)	1.48
688	産直小ねぎ(糸島BM農法研究会)	福岡県糸島市	2012/4/3収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.31	検出せず(検出限界値未満)	1.28	検出せず(検出限界値未満)	1.26
687	カンパン	山梨県甲府市	2012/2/22製造	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.34	検出せず(検出限界値未満)	1.58	検出せず(検出限界値未満)	1.79
686	産直なら(糸島BM農法研究会)	福岡県糸島市	2012/4/3収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.24	検出せず(検出限界値未満)	1.29	検出せず(検出限界値未満)	1.17
685	産直レッドオニオン(副子有機農法研究会)	北海道常呂郡	2011年10月頃収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.92	検出せず(検出限界値未満)	0.92	検出せず(検出限界値未満)	1.18
684	産直玉ねぎ(出水真鶴会)	鹿児島県出水市	2012/4/4収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.04	検出せず(検出限界値未満)	1.25	検出せず(検出限界値未満)	1.18
683	産直小松菜(たのくら会)	福岡県田川郡	2012/4/3収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.10	検出せず(検出限界値未満)	1.55	検出せず(検出限界値未満)	1.50
682	産直ほうれん草(たのくら会)	福岡県田川郡	2012/4/3収穫	2012/4/10	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.02	検出せず(検出限界値未満)	1.53	検出せず(検出限界値未満)	1.44
681	白神こだま酵母ドライ	秋田県秋田市	2012/1/23製造	2012/4/9	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.97	検出せず(検出限界値未満)	1.99	検出せず(検出限界値未満)	2.44
680	産直春菊(たのくら会)	福岡県田川郡	2012/4/4収穫	2012/4/7	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.19	検出せず(検出限界値未満)	1.17	検出せず(検出限界値未満)	1.44
679	産直(レイシヨ(マーク))(有機農法すずらん会)	北海道河内郡	2011年9月頃収穫	2012/4/7	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.95	検出せず(検出限界値未満)	0.82	検出せず(検出限界値未満)	1.27
678	味のり(12切)徳用5枚50束	福岡県柳川市	2012/3/9製造	2012/4/6	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.32	検出せず(検出限界値未満)	1.51	検出せず(検出限界値未満)	1.86
677	産直グリーンリーフ(三橋有機農法の会)	福岡県柳川市	2012/4/4収穫	2012/4/6	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.12	検出せず(検出限界値未満)	1.48	検出せず(検出限界値未満)	1.83
676	チーズとマヨネーズのパン(フルタパン)	福岡県福岡市	2012/4/2~4製造	2012/4/6	Ge	検出せず(検出限界値未満)	0.94	検出せず(検出限界値未満)	0.97	検出せず(検出限界値未満)	1.13
675	産直ブロッコリー(黒木有機農法の会)	福岡県八女郡	2012/4/2収穫	2012/4/6	Ge	検出せず(検出限界値未満)	1.40	検出せず(検出限界値未満)	1.50	検出せず(検出限界値未満)	1.67

Table with 12 columns: 番号, 商品名, 製造地・生産地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法 (Ge/Nal), コウ素-131 (結果, 検出限界値), セシウム-134 (結果, 検出限界値), セシウム-137 (結果, 検出限界値). Rows contain detailed inspection data for various food products.

Table with 12 columns: 番号, 商品名, 製造地・生産地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法 (Ge/NaI), コウ素-131 (結果, 検出限界値), セシウム-134 (結果, 検出限界値), セシウム-137 (結果, 検出限界値). Rows list various food items like bread, cheese, and meat with their respective radiation levels.

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様にしています

●放射性セシウムの基準値について

2012年4月からの国の基準は、飲料水10ベクレル/kg、乳児用食品・牛乳50ベクレル/kg、一般食品100ベクレル/kg以下です。

●グリーンコープでの放射能検査内容と報告について

検査対象 グリーンコープでは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域は関東から東北地方が中心であるものの、必ずしもエリアを限定して考えるべきではないという判断で、また利用される組合員の心配に対応するためにも検査対象を全国に広がっています。また外国産の食品も検査対象にしています。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室（福岡市）で検査を開始しました。ただし、グリーンコープ放射能測定室で検査可能な品目数を越えた場合などは、これまでと同様に外部機関に検査を委託することもあります。

検査日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果 ヨウ素131とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。

の表記 検出限界値未満の結果については「検出せず（検出限界値未満）」と表記します。

「検出限界値」とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。

※検出限界値未満とは、放射能は0ではなく、放射能は存在する可能性があるということです。厚生労働省から9月29日付けで、検出限界値未満の結果については、測定によって得られた検出限界値を表示するよう通知が出されており、国や自治体から公表される検査結果には、「不検出」や「検出せず」ではなく、検出限界値が表示されるようになりました。

シリーズ(8)
被災地復興の今

「3.11」支援活動の歩み

2011年3月11日、東日本を襲った大震災。未曾有の被害を受けた被災者の方々に、グリーンコープは直ちに緊急救援物資を届けました。すべてのいのちと寄り添い、助けあい、支えあう社会・地域をめざすグリーンコープだからこそできる支援を続けています。この1年の支援活動を振り返ります。前号につづいて2011年9月から2012年2月までを掲載します。

グリーンコープ

共生地域創造財団

- 9月は合計4便のトラックが被災地に支援物資を届けた
- ボランティアとして、福祉ワーカー10人が介護施設へ、グリーンコープ職員8人が取引先工場・蛤浜・物資配送へ



9月

- 大船渡で仮設・在宅向け支援活動強化
- 日配品の支援を自立に向けて一旦中断
- 避難所から仮設住宅への移行が進み、仮設住宅対応に移行



- グリーンコープに放射能測定室を開設し、Nal(TI)シンチレーションカウンタ2台購入。これまで1日2~4アイテムの検査が、1日10アイテム検査できるようになった
- 10月から気温低下、配布会用物資を8便のトラックで被災地に届けた
- 被災者の困窮状況を調査・把握して、食品の配布を再開。グリーンコープ物流センターの予備商品を週1回送達開始



10月

- 冬物衣料配布会開催(石巻・亶理で8回)
- 10.1、高橋徳治商店火入れ式(本社工場1ライン稼働)
- 石巻・亶理町では全9仮設集会所で冬物衣料配布会開催。またその他団体から要請を受け物資提供
- 高橋徳治商店第2工場瓦礫撤去支援



- 11月は衣類・布団関係を中心に9便のトラックが被災地に支援物資を届けた
- ボランティアとして、福祉ワーカー8人が介護施設に、グリーンコープ職員7人が物資配送、配布会、倉庫作業へ



11月

- 一般財団法人共生地域創造財団設立(11.1)
- 冬物衣類配布会開催(亶理・大船渡・米沢・東松島で5回)
- 蛤浜から冬場の亶理支援を考慮プレハブ移設し、亶理活動本格化
- 丸子農園(亶理)支援開始



- クリスマス・正月企画として取引先から物資支援(鏡もち・もち・お菓子等)が届いた
- 12月は合計7便のトラックが被災地に支援物資を届けた
- ボランティアとして、福祉ワーカー10人が介護施設へ
- 組合員からの提供物資の布団・コタツ布団の全てを被災地に配布した



12月

- 12月1日から高速無料化
- 冬物衣料配布・年末企画開催(山元・石巻・宮城野・女川・岩手で9回)
- クリスマス企画、正月企画
- 丸子農園の苺を使ったクリスマスケーキを、渡波地区でいち早く復興したケーキ店「えくれーる」に依頼。スタッフがサンタクロースに扮して届けた。その他にツリー・鏡もち・もち等も配布
- 大船渡で連携団体と共に年越しそば、おせちを市内世帯に配布
- 在宅被災者に物資が届いていないことが分かり、物資支援を強化



- さらに放射能検査の強化に向けて、より精度が高く処理能力の高いゲルマニウム半導体検出器(1台)を購入し、検査処理対応力のアップを図った。この結果、この間1日当たり10検体がMAX26検体まで検査が可能になった
- 1月は合計8便のトラックが被災地に支援物資を届けた
- ボランティアとして、福祉ワーカー6人が介護施設に、グリーンコープ職員3人が物資配送、配布会、倉庫作業へ



2012
1月

- 冬物衣料配布・年始企画開催(米沢市・いわき市・山元で6回)
- 正月企画(支援物資で福袋準備し配布)
- 大船渡市から在宅見守り支援要請
- 配布会(山元・米沢)
- 女川・牡鹿在宅被災者支援対応強化



- この間の放射能検査実施は640検体
- 2月は合計6便のトラックが被災地に支援物資を届けた
- 2月までの物資支援便の累計は、10t車44便、共同配送車113便の合計157便運行
- 取引先からの提供物資及び組合員からの提供の毛布類の全てを被災地へ出荷完了
- ボランティアとして、福祉ワーカー8人が介護施設へ、グリーンコープ職員1人が物資配送、配布会、倉庫作業へ
- 在宅被災・仮設住宅で困窮度が高いところへ日配品(卵)配達再開



2月

- 冬物衣料配布会開催(大船渡・東松島・女川で6回) 2月までの冬物衣料配布会開催は累計34回

※困窮者支援を行ってきた「ホームレス支援全国ネットワーク」、生活クラブ、グリーンコープが連帯して、被災地の漁業や農業の復興支援、仮設住宅や避難生活をしている人々への見守り支援などをしながら、地域創造の実現をめざす団体

